

■第25回みちのく銀行青函カップヨットレース レポート

回航

晴天に恵まれた7月10日、2012年青函カップに向けて春川・我妻二人での回航がスタートした。低気圧が日本海に近づいていたこともあり、早めに函館に入れるよう準備をしたのだったが、結果的に着いたのが12日午後であった。前半は快適だったが、北上するにつれ激しい波と流れに遭遇。マスト灯とウインデックスが飛ばされ、エンジン停止が2回と不安との戦いであった。

でも、なんとか函館港に入港。我妻はあまりの疲労に夕方5時半に就寝したのであった。



選手会

函館に全員が集めたのが、13日午後7時。赤レンガ倉庫のお店にて選手会は盛大に行われた。ロシア人を含め総勢100名あまりが集まり、生バンドを前にみんな盛り上がっていた。函館の夜は長く、明日のレース大丈夫か?と思うくらいおいしいお酒を頂くことができた。(写真左から伊比、春川、我妻)

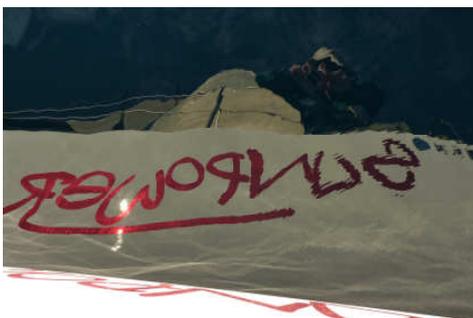


レース当日。天候は曇り、予報は風速1~10m/秒南西とこの位の風がサンパワーにとって有利になること間違いなし。ファーストホームは難しくても、目指せセカンドフィニッシュ!

(写真左から春川、桑原、伊比、神林、小柴、我妻)



AM10時のスタートに向けて各艇ポジション争い。本部艇とブイの間のラインを沿うようにして函館山の裾のブイ沿いからスタート。最高のスタートをきり、下に仙台のESPOIR、上にオーシャンボーイ、と両艇がマークできる好位置でクルーもサンパワーもコンディション上々。



ところが、午後に入りまだ後ろには函館山がすぐそこに見える位置で無風地帯に突入。海峡を突っ切る予定でいたのだがこれが裏目に。西の風と、東の風の間で漂う破目に。大間に向かったESPOIR、竜飛に向かったKIHOを少し前まで先行していたのに…



無風の中、ジェネカをあげるも潮に流されるだけで
厳しい状態。大間のヨット集団は微弱ながら進んで
いる。夕方から夜にかけて、結局大間に向かっては
しることにした。だいぶ離されてしまったと思いき
や、夜中のロールコールで下北半島の大間で団子状
態になっていることに気付く。



昼の無風が嘘のように明け方は MAX 9 ノットで津
軽海峡をつきることができた。暗闇の中、ごぼう
抜きをして喜んだのも東の間、明るくなる頃には雨
が降り出し、ようやく青森港が見えてきた。ふたた
びジェネカーをあげゴールまでこの調子で一気にフ
イニッシュだ！



まもなくゴール！！...のはずが残り数十メートルで
またも無風地帯に（汗）そこにゴールが見えている
のに...

そしてなんとかゴール！！AM 5 時 1 6 分 5 6 秒。所
要時間 1 9 時間 1 6 分 5 6 秒。お疲れ様でした。



3時から国際ホテルにて表彰式。暗闇の中ぶっとば
したからあわよくば、と思いきや、着順4位。修正
順位は7位と惨敗。完全優勝は仙台の ESPOIR。

今度はもっと高い順位で表彰台にのるぞ！

今回のレースで思ったのが、微風のイタズラなのか、
自然の中での小賢しい戦略はあまり意味がないのか
もしれないということでした（笑）

皆様ご協力ありがとうございました。